

# 1. 評価結果概要表

平成 20年 5月 8日

## 【評価実施概要】

|       |  |       |           |
|-------|--|-------|-----------|
| 事業所番号 | 0171700198                             |       |           |
| 法人名   | ササキ総合管理サービス                            |       |           |
| 事業所名  | グループホーム すえひろ                           |       |           |
| 所在地   | 瀬棚郡今金町字今金 358番地13<br>(電話) 0137-82-2422 |       |           |
| 評価機関名 | 社団法人 北海道シルバーサービス振興会                    |       |           |
| 所在地   | 〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7 4階    |       |           |
| 訪問調査日 | 平成19年3月19日                             | 評価確定日 | 平成20年5月8日 |

【情報提供票より】 ( 20年 2月 5日事業所記入)

### (1) 組織概要

|       |                                   |
|-------|-----------------------------------|
| 開設年月日 | 昭和・平成 17 年 3 月 1日                 |
| ユニット数 | 2 ユニット 利用定員数計 18 人                |
| 職員数   | 23 人 常勤 15人, 非常勤 8 人, 常勤換算 12.4 人 |

### (2) 建物概要

|      |              |
|------|--------------|
| 建物構造 | 鉄骨ユニット平屋 造り  |
|      | 1階建ての ~ 1階部分 |

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                 |  |
|-----------------|--|
| 家賃(平均月額)        | 30,000 円   |
| その他の経費(月額)      | 15,000 円   |
| 敷金              | 有( 円) <input checked="" type="checkbox"/> 無                |
| 保証金の有無(入居一時金含む) | 有( 円) <input checked="" type="checkbox"/> 有りの場合償却の有無 有 / 無 |
| 食材料費            | 朝食 300 円 昼食 300 円  |
|                 | 夕食 300 円 おやつ 100 円   |
|                 | または1日当たり 1,000 円   |

### (4) 利用者の概要 ( 2月 1日現在 )

|       |         |         |         |
|-------|---------|---------|---------|
| 利用者人数 | 18 名    | 男性 5 名  | 女性 13 名 |
| 要介護1  |         | 要介護2    | 3 名     |
| 要介護3  | 13 名    | 要介護4    | 2 名     |
| 要介護5  |         | 要支援2    | 名       |
| 年齢    | 平均 85 歳 | 最低 74 歳 | 最高 98 歳 |

### (5) 協力医療機関

|         |                     |
|---------|---------------------|
| 協力医療機関名 | 今金町国保病院・いまかね歯科クリニック |
|---------|---------------------|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

今金町は、檜山管内唯一の内陸地域で、閑静な住宅街の中にそびえ立つオランダ風車の近くに、事業所は位置している。隣接された小規模多機能施設と共に、運営者は、地域高齢者福祉に多大なる理解を示し、行政と連携して事業所職員、町内や近隣介護施設職員と合同で、研修会、勉強会を開催し、質の向上に意欲的に取り組んでいる。謙虚な姿勢で接する運営者は、利用者のアイドル的存在で笑い声が絶えない明るい雰囲気のある事業所である。管理者は職員の育成に取り組みながら、認知症講師として活躍し、職員は、運営者と管理者を信頼している。夜勤5時間の勤務体制なので、心に余裕を持ってケアに専念でき、利用者は安心と尊厳を守られた生活をおくっている。

## 【重点項目への取組状況】

|       |   |
|-------|---|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)<br>前回改善課題の玄関まわりは、大きなガラスを取り外して広く整備され、開放的に改善されていた。   |
|       | 今回の自己評価に対する取組み状況。(関連項目 外部4)<br>年1回の自己評価は、日頃のケアの振り返り、見直しの良い機会であると捉え、職員全員で前向きな意見を出し合い、話し合って作成している。  |
| 重点項目② | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4, 5, 6)<br>運営推進会議は、利用者、家族会、地域住民、行政の職員がメンバーとなっている。事業所の取組みや、日常の様子、自己評価、外部評価の意義の理解などを議題にして、活発な意見交換が行われていて、双方向的な会議である。  |
| 重点項目③ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)<br>年2回家族会会議を開催しているが、感謝の言葉はあるが、運営に反映できる率直な意見を頂くまでには至らず、来訪時に声かけを徹底し、不安や意見を聞き出せるように、チーム全員で取り組んでいる。                 |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)<br>近所の子供達が事業所の犬の散歩を手伝ってくれたり、町内会の敬老会やお祭りなどにも積極的に参加している。事業所の夏祭りやクリスマスには商工会青年部がボランティアにきてくれたり地域との交流は盛んに行われていて、訪問しやすい雰囲気作りに努めている。 |

## 2. 評価結果（詳細）

| 外部評価               | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |      |   |  |                      |                                   |
| <b>1. 理念と共有</b>    |      |   |  |                      |                                   |
| 1                  | 1    | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている    | 理念は、家庭的な環境と地域住民との交流の下で安心と尊厳を柱に作成している。  |                      |                                   |
| 2                  | 2    | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                       | 理念を見やすいところに提示し、日常的に意識している。ユニット会議、全体会議の中で、理念に基づいたサービスを実践しているか話し合っている。                             |                      |                                   |
| <b>2. 地域との支えあい</b> |      |   |  |                      |                                   |
| 3                  | 5    | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 末広まつり、敬老会など町内会の行事には積極的に参加している。事業所の愛犬の散歩に近所の子供達が手伝ってくれたり、夏祭り、クリスマスには、商工会青年部の方々が訪れるなど交流は盛んに行われている。 |                      |                                   |
| 4                  | 7    | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる   | 運営者、管理者は自己評価の意義を十分理解している。日々のケアの振り返りや見直しの良い機会と捉え、職員から前向きな意見を聞き、最良の方法を検討し、改善に向けて取り組んでいる。           |                      |                                   |

| 外部評価                   | 自己評価 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|---|----------------------|-----------------------------------|
| 5                      | 8    | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている              | 運営推進会議では、参加者の意見交換が活発に行われている。評価の意義や日常生活の様子などを報告し、外部評価結果も議題にしている。                                   |                      |                                   |
| 6                      | 9    | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                               | 運営者は、行政と常に連携し情報収集、意見交換が行われている。研修会講習会の実施を提言し、サービスの質の向上と、職員の育成の基盤作りに努めている。                          |                      |                                   |
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |      |  |   |                      |                                   |
| 7                      | 14   | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                              | 月1回「すえひろ新聞」を発行して利用者の日常生活を伝えており、家族の評判も大変よく安心感を与えている。金銭出納帳や領収書を明示し、定期的に報告を行い、家族の捺印も頂いている。           |                      |                                   |
| 8                      | 15   | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 家族会や来訪時に意見、苦情を何うように配慮しているが、感謝の言葉はあっても、運営に反映する率直な意見などを頂くまでに至っていない。家族の来訪時には、声かけを徹底することをチームで取り組んでいる。 |                      |                                   |
| 9                      | 18   | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 現在まで退職者はいない。併設施設に1名異動があったが、利用者のダメージを考えて、時々訪れ不安解消に努めている。運営者は、利用者にとって馴染みの関係の大切さを十分に理解している。          |                      |                                   |

| 外部評価                             | 自己評価 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|--|--|----------------------|-----------------------------------|
| <b>5. 人材の育成と支援</b>               |      |  |  |                      |                                   |
| 10                               | 19   | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている                | 運営者は、職員の資格取得や研修会、講習会の参加を出張扱いとし、職員の希望する学ぶための体制を構築している。復命は全体会議で報告し、記録は自由に閲覧できる。                                  |                      |                                   |
| 11                               | 20   | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている      | 運営者は、町内や近隣の町の介護施設職員と合同で研修会、勉強会を実施し、時には、管理者を講師として派遣するなど、相互交流とサービスの向上に意欲的に取り組んでいる。                               |                      |                                   |
| <b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>      |      |  |  |                      |                                   |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |      |  |  |                      |                                   |
| 12                               | 26   | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 職員が自宅を訪問し、馴染みの関係作りからは始めている。本人、家族が事業所を見学・体験するなど、生活に適應できるまで十分時間をかけている。家族からは、生活歴を伺い、本人が安心、納得してサービスを利用できるよう工夫している。 |                      |                                   |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |      |  |  |                      |                                   |
| 13                               | 27   | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                       | 利用者に、おはぎの作り方、調理の工夫、味付けなど教えていただき、職員は、出来ること、出来ないことを見極め、さりげなく支援をして、共に支えあう関係である。                                   |                      |                                   |

| 外部評価                                  | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>    |      |   |  |                      |                                   |
| <b>1. 一人ひとりの把握</b>                    |      |   |  |                      |                                   |
| 14                                    | 33   | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | 日々のかかわりの中で、表情や言葉から本人の意向を確認したり、意思疎通が困難のときは家族から情報を得て、本人本位の対応をしている。                       |                      |                                   |
| <b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |      |   |  |                      |                                   |
| 15                                    | 36   | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | 利用者の特徴と表情をよくとらえた絵を職員が描き、日常の介護で気がついたことを記入しアイデアを出し合っている。家族と相談の上、センター方式を取り入れた介護計画を作成している。 |                      |                                   |
| 16                                    | 37   | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 3ヶ月ごとに評価し、6ヶ月に1回の見直しが行われている。状態の変化に応じて随時見直しも行われている。                                     |                      |                                   |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>              |      |   |  |                      |                                   |
| 17                                    | 39   | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                                   | 本人、家族の要望で、受診支援、早期退院支援、外出支援など柔軟な支援をしている。  |                      |                                   |

| 外部評価                               | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)  |
|------------------------------------|------|---|--|----------------------|--|
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |      |   |  |                      |  |
| 18                                 | 43   | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している             | 本人、家族の希望でかかりつけ医の受診をしている。遠方のかかりつけ医には事前に予約して、待ち時間がないように支援している。                 |                      |  |
| 19                                 | 47   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 運営者、管理者は、重度化や終末期については理解しているが、環境的に困難な地域性を考慮すれば苦慮している項目である。                    | ○                    | 緊急時には救急車の利用を家族には話して、承諾を得ているが、本人・家族の意向を確認しながら、方針の共有を図る事を期待する。同業者で終末期ケアをしている施設見学を職員は望んでいる。 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>   |      |   |  |                      |  |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>             |      |   |  |                      |  |
| <b>(1)一人ひとりの尊重</b>                 |      |   |  |                      |  |
| 20                                 | 50   | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | 個人情報に関する記録は所定の箇所に施錠して保管している。本人を傷つけないように、優しくさりげない言葉かけや対応にチームで取り組んでいる。         |                      |  |
| 21                                 | 52   | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | 大まかな一日のスケジュールはあるが、起床時間、就寝時間もまちまちで本人のペースを大切に支援している。その日の希望で散歩、買い物など柔軟に取り組んでいる。 |                      |  |

| 外部評価                                 | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|------|---|---|----------------------|-----------------------------------|
| <b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b> |      |   |   |                      |                                   |
| 22                                   | 54   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 野菜の皮剥き、盛り付けなど利用者の出来ることを一緒にしている。ご飯は本人が食べられる分量を自分でよそって楽しく食事をしている。                           |                      |                                   |
| 23                                   | 57   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している        | 毎日希望する時間に入浴はできるが、強制することなく、本人が楽しく入浴できるように支援している。   |                      |                                   |
| 24                                   | 59   | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 入居時に生活歴を家族から伺い、潜在している記憶を活かせるように、畑を借りて家庭菜園、カラオケ、百人一首の読み上げ、プランターに草花を植えるなど、楽しんでいる様子は写真で確認する。 |                      |                                   |
| 25                                   | 61   | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | 事業所の目の前の遊歩道はオランダ風車と花畑が続いており、散歩に最適な環境で、利用者は毎日のように楽しんでいる。遠出のドライブで季節を満喫している様子は写真で確認する。       |                      |                                   |
| <b>(4) 安心と安全を支える支援</b>               |      |   |   |                      |                                   |
| 26                                   | 66   | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 日中は鍵をかけず、出入りは自由であるが、夜間は防犯のため施錠している。   |                      |                                   |

| 外部評価           | 自己評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                              |
|----------------|------|---|---|----------------------|--|
| 27             | 71   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている                                | 事業所は非常口を十分に確保している造りであり、避難訓練や夜間想定訓練を実施していて、近所の方々の協力も得ている。                                      |                      |  |
| 28             | 77   | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 職員の栄養士により、カロリー計算やバランスのよい献立で食事を提供しているが、水分摂取量の記録は注意が必要な方のみである。                                  | ○                    | 利用者のおおまかな水分摂取量は把握されているが、生活習慣や日頃の様子を観察しながら、一人ひとりの水分摂取量の記録が望まれる。 |
| (1)居心地のよい環境づくり |      |   |   |                      |  |
| 29             | 81   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用空間は、一般的家庭の雰囲気であり、利用者は自宅の延長として居心地よく、安心感のある居場所を確保している。採光や音も不快感なく、季節ごとに飾られる利用者の作品や写真などで工夫が伺える。 |                      |  |
| 30             | 83   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | 居室は使い慣れた調度品の持ち込みが自由で、家族と相談して本人が居心地よく過ごせる工夫がされている。   |                      |  |

※  は、重点項目。